

| フォト部門 | | |
|--|---|---|
| 定員 100名 | フォト 着物トレンドアレンジ | |
| 〈出場資格〉 理美容室勤務者 理美容室経験者（理美容専門学校在校生不可） | | |
| 競技規定 | | |
| <p>作品テーマ「22世紀の和装」</p> <p>★1枚の写真で独自の世界観を表現してください ※この競技はモデルを使用した競技です ※フォト部門は何点でも作品エントリー可能です ※ウィッグ競技とフォト部門、モデル競技とフォト部門などのダブルエントリーは可能です</p> <ul style="list-style-type: none"> ・着物と帯を使用することを条件とし、自由な発想を表現した作品 ・ヘア、メイク、着付のトータルコーディネートを楽しむ競技 ・3名までのチーム参加可 ・写真作品としての芸術的感性も評価する ・モデルはプロ・アマ問わないが、SNSや雑誌などに掲載可能であること ・背景は自由 ・デジタル加工可 ・撮影アングルは下記参照 <p>【詳細要項】 この競技は上記内容以外に詳細要項があります ※本要項の下部をご確認ください</p> <p>【撮影アングル】 合計：6枚 【1】自由 ※テーマに沿った1枚を撮影ください 【2】前（全身） 【3】右横（全身） 【4】左横（全身） 【5】後ろ（全身） 【6】バストアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真の投稿は、2024/6/24(月) 昼12時～ 2024/7/3 (水) 昼12時までに行うこと ・結果発表は、2024/8/27(火)に横浜武道館で発表 | | |
| 撮影アングル | | |
|  |  |  |
| 【1】自由 | 【2】前（全身） | 【3】右横（全身） |
|  |  |  |
| 【4】左横（全身） | 【5】後ろ（全身） | 【6】バストアップ |
| 失格事項 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・規定通りに作品を投稿しなかった場合 ・投稿期限を越えて作品を投稿した場合 | | |
| 出場費 | 会員 ¥3,000 / 一般 ¥5,000 | |
| 賞金 | 優勝 ¥20,000 / 準優勝 ¥10,000 | |
| エントリー期間 | 5/15(水) 昼12:00 ～ 5/29(水) 昼12:00 まで ※エントリー後のいかなる変更・ご返金は対応致しかねますので、ご了承ください。 | |
| 作品投稿方法 | 作品投稿期間になりましたら、WEBページの投稿フォームより作品を投稿ください | |
| 作品投稿期間 | 2024/6/24(月) 昼12時～ 2024/7/3 (水) 昼12時 | |

2024年度版 フォト 着物トレンドアレンジ 詳細要項

(1) 課題の内容 テーマ「22世紀の和装」

- 着物を使用し、モデルにテーマに沿ったヘア、メイク、着付をする
- トrendを取り入れた着付アレンジを競技する
- ヘア、メイク、着付のトータルバランスとアイディア、作品力を評価する
- 帯は名古屋帯、袋帯、半幅帯のいずれかを使用する

(2) 競技規定

- 競技者は3人までのチームでヘアセット・メイク・着付を行う（1人で行っても良い）

※ヘアセットの選手、メイクの選手、着付の選手の3人までの参加可

※着付は必ず1で行うこと

- モデルは人体とし、プロ・アマは問わないが、SNS や雑誌などに掲載可能であること
- 競技者はマスク着用。モデルもメイク時以外はマスクやマウスシールドを着用
撮影時は外す

(3) 競技時間

- 規定なし

(4) 競技用具の準備 (選手が準備するもの) (参考までに掲載する)

- ① (小紋、付け下げ、訪問着、振袖、袴 等)
- ② 帯 (名古屋帯、袋帯、半幅帯、いずれかを使用する)
- ③ 履物 (草履や靴など、外を歩けるもの)
- ④ 長襦袢 (長襦袢でなくても、代わりになるようなものであれば良い)
- ⑤ 帯締め、帯あげ
- ⑥ ヘア用具一式
- ⑦ 化粧品一式
- ⑧ 衣裳敷き
- ⑨ 衣装箱
- ⑩ 小物付属品

肌着、足袋 (和装用で無くても良い。) 補正用タオルやガーゼ

- ・腰紐・帯枕・仮ひも (変わり結び用) ・帯板 ・クリップ ・伊達巻 2本
- ・ボディ補正用具 ・前帯板と後ろ帯板 ・クリップ類 ・伊達巻き2本

(5) ヘア・メイクに関する注意事項

- ① 髪飾りやヘアピースの使用可
- ② つけまつげ、エクステ等、規制なし

(6) 撮影時の注意点

- 作品の背景は、審査がしやすいように明るく、スッキリした場所で撮影すること
- 作品がぼやけていたり、影ができてしまうと細かい部分の審査ができないので注意すること
- カメラの角度が傾いていると、作品のバランスが悪くみえてしまうので注意すること
- 指定されたアングルを撮影すること (6アングル) ※撮影アングル例を確認